

防災行政無線

4月1日より本格運用が始まった「南国市防災行政無線」の親局は、市役所危機管理課の一面に設置されています。免震構造の部屋に、心臓部となる機器やテレビ画面、操作卓などが置かれ、まるで学校の放送室のようです。

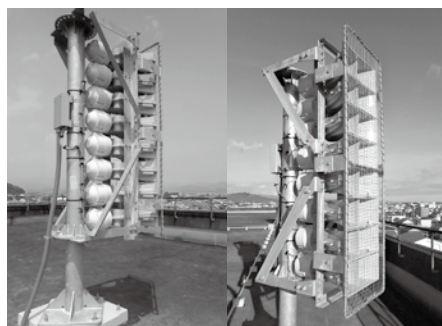


防災行政無線システムとは、専用無線電波を使い、市役所から防災・災害情報を市内全域に、一斉・同時に放送するシステムです。

★放送される情報

①大雨に関する情報や土砂災害警戒情報などの気象情報、また避難準備情報や避難勧告、避難指示など避難の呼びかけ

日常的には、消防屯所での正午の定時テストのサイレンと、夕方5時には定期点検を兼ねた音楽が流されていますが、皆さんはどのようにお聞きですか。スピーカーの音量は、普段は「小」ですが、緊急時には自動的に「大」になります。



8連ホーンアレイスピーカー

このシステムは、今年8月の台風襲来時には土砂災害警戒情報、避難準備情報、避難勧告や開所避難所情報などを次々放送し、大活躍しました。私は、それまでは単なる「時報」ぐらいにしか気にしていませんでしたが、それから放送に注意が向くようになりました。いざという時には放送内容に十分注意して、適切な防災行動をとる。それが命を守ることに繋がります。

②アラート（消防庁の全国瞬時警報システム）により緊急地震速報、津波・大津波警報、特別警報、国民保護情報（他国からのミサイル発射など）

★伝達方法

①市内に効率よく配置された屋外子局のスピーカーを使って、市内全域に伝達



②北部山間地域の世帯には、戸別受信機を貸与
③聴覚障害者の方には文字表示付き戸別受信機が、本年度中に配布予定



（委員長コメント）

南国市は、東日本大震災の教訓を受け、それまでに取り組んでいた防災計画を大きく見直しました。

私たち広報編集委員は、この市町村よりも早く14基の津波避難タワーが南国市に完成したことを知り、特集を組むことになりました。

津波避難タワー、避難場所と避難経路、三和防災コミュニティセンター、南国市防災行政無線について取材させていただき、関係の方々から大変役立つお話を伺うことができました。そして、急ピッチで進められた南国市の防災への取り組みを詳しく知り、一市民として大変心強く感じました。それと同時に、いざという時に、自分や家族の命を守り、つなぐことができるのは自分自身であることも再認識しました。

特集を通して、私たち一人一人がしておかなければならない災害へのシミュレーションが出来ているか、自分の命をつなぐための物の心の準備は出来ているかを見つめ直す機会にさせていただけたらと願っています。

